

## 綾帰途に

病気はすばやいのろけいの中で進む

僕は神経質運命を待つのが遅れるができません、

ゆっくり歩むに壁を掴みます、

僕なのでしょう思い出が涙と汚れます。

悲しいの明かりは運命の廊下にでしよう、

一日で終りまでもっと速くで進みますね、

世界の囲むが小さいですの見ますね、

人々のさようならするできませんの見ますね。

泥棒、僕の白い蠟燭の泥棒でしよう、

慈悲の訳なし強く吹きます、

いつも悲しいの魂の鏡が壊します。

僕は僕の人生を運転する、

僕のとけいを運転する。

砂を転ぶの見るの役立つに

この旅行の終りを知たらか

死神を呼び出す、速くください。

それに、最後のため息を保つました、

僕は白い蠟燭を消ますよ。